

■仕様

型 名	フードセーバー® FM5460		
電 源	100V 50/60Hz	原産国	中国
消費電力	115W	重 量	3.28kg
外形寸法	幅 395mm x 奥行 235mm x 高さ 180mm		

保証書

この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この保証書は、保証期間中に故障が発生した場合には、下記の無料修理規定にしたがって無料修理を行うことをお約束するものです。

この製品が、万ー保証期間内に故障した場合は、フードセーバー カスタマーサービスセンターにご連絡願います。保証期間内に限り無料で修理させていただきます。(ご返送の際に発生する送料はお客様のご負担となります。)

※修理を希望される場合、本書とお買い上げ証明(お買い上げ明細書、レシート、領収書など)の提示が必要となりますので、保証書とお買い上げ証明を大切に保管してください。

【品名：フードセーバー® FM5460】

お客様ご氏名： 様 ご購入日： 年 月 日

お客様ご住所：〒 保証期間：ご購入日より1年間

お客様電話番号(購入時)

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な点がございましたら、下記の当社フードセーバーカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった使用状態で故障した場合は、保証期間内に限り無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - 本書の提示がない場合。
 - お買い上げ明細書がない場合および本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、または不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お引き渡し後の輸送・落下・水濡れ等による故障および損傷。
 - 火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害・その他の天変地異による故障および損傷。
 - 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。
 - 故障の原因が本機以外にある場合。
- 付属品等の消耗品の交換。
 - 車輛船舶などに搭載されて生じた故障および損傷。
 - 一般家庭用以外の用途(業務用など)で生じた故障および損傷。
 - 取扱説明書に記載された「安全のご注意」を守られていない場合の故障。
- 直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理を行った場合の出張料等は、お客様の負担となります。
- 消耗品は保証対象外となります。
- 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
- 保証に関して不明の点がありましたら、当社フードセーバーカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので大切に保管してください。

お問い合わせ先

フードセーバーカスタマーサービスセンター

0120-36-2040

受付時間 平日 10:00 ~ 18:00(祝日、年末年始を除く)

輸入元：コールマンジャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-9-25 芝浦スクエアビル

© 2021 Sunbeam Products, Inc. All rights reserved. Distributed by Coleman Japan Co., Ltd., 10/F, Shibaura Square Building, 4-9-25, Shibaura, Minato-ku Tokyo, 108-0023 Japan. One Year Limited Warranty – see inside for details.
 FM5460-040_21JM1 GCD5-FSV1426087-LD P.N. 191823 Rev. B

FoodSaver®

フードセーバー® FM5460

取扱説明書



www.foodsaverjapan.com

もくじ

安全にお使いいただくために	1-2
使用上の注意	3
付属品&別売り	4
各部の名称とはたらき	5-6
クイックスタートガイド	7-10
使い方ヒント	11-12
お手入れ・お掃除方法	13
こんなときには	14

このたびはフードセーバー®をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

●ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

●お客様の安全のため、必ず「安全にお使いいただくために」をお読みのうえで使用ください。

●取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要な時にご使用ください。

 安全にお使いいただくために

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みになり、
注意事項・使用方法にしたがって安全に正しくご使用ください。
ケガや事故の原因になりますので、この取扱説明書に記載のない目的・方法では絶対に使用しないでください。

■ 絵表示について

表示内容を守らず、誤ったご使用をされたときに生じる危害や損害の程度を、下のような表示で区分して説明しています。
本文の内容をよく理解してから、ご使用ください。

Ⓢ Ⓜ Ⓝ Ⓟ Ⓡ Ⓢ Ⓣ マーク は、してはいけない「禁止」の内容です。

❗マークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告 「人が死亡又は重傷等を負う可能性が想定される」内容



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

- ・濡れた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、電源が入った状態の本体を触ったりしないでください。感電の恐れがあります。



交流100V以外の電圧で使用しない
・本製品は交流 100V 以外での電源コンセントには使用しないでください。
延長コードは使用しないでください。タコ足配線はしないでください。
火災・感電の原因となります。



異常な状態では使用しない

- ・お子様やペットのそばでは使用しないでください。
- ・本製品または他の部品を落としたり破損した場合には、使用しないでください。
- ・本製品を異常な状態で使用しないでください。煙がでたり、異臭がするなど、異常な状態で使用する、火災・感電の原因になります。



水をかけたり、濡らしたりしない
・火災・感電・ケガを防ぐため、本体、電源プラグ、電源コードを水等の液体に浸けないでください。



- ・自分で分解・修理しない
- ・自分で分解、改造、修理することは絶対にしないでください。
破損・故障・ケガ・事故の原因になります。
- ・本製品、電源コード、プラグが破損しているとき、または正しく動作しないときは、巻末のご案内による連絡先に修理を依頼してください。
- ・本体、電源コードおよびプラグが破損しているか、または正常に動作していない場合は、保証書に記載されているカスタマーサービスセンターへお問い合わせください。



記載のない目的、方法で使用しない
・この取扱説明書に記載のない目的、方法では絶対に使用しないでください。
ケガや事故の原因になります。



・専用のバッグ類に熱いものを入れる際は、やけどにご注意ください。

注 意 「人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される」内容



電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない

- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- ・お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて冷ましてから行ってください。



ほこりやゴミを取る
・電源プラグに付いたほこりやゴミは取り除いてください。



本体を逆さ、横倒しで使用しない

- ・使用時は本体を逆さにしたり、横倒しにしないでください。
- ・使用中に移動させないでください。感電・ケガの原因になります。



水気、火気の近くに置かない

- ・台所の流し台、水気のある場所、油煙や湯気があたる場所、湿気やほこりの多い所では使用しないでください。
- ・本体・専用ボックス類・専用バッグ類を火気の近くに置かないでください。火災の原因になります。



付属品の取扱い

- ・真空ジッパーバッグを電子レンジで使用する際（100℃まで）は、ジッパーを開けてから加熱してください。また、油分の多い食品は、他の容器に移してから加熱してください。
- ・バッグを電子レンジで使用する際（100℃まで）は、ハサミ等で切れ目を入れてから加熱してください。
- ・バッグを湯せんする際は、必ず弱火にし沸騰直前のお湯で調理してください。
- ・専用のバッグ類およびボックス類をオープンで直火にかけないでください。



・ゴムおよびスポンジ部分を研磨剤などで拭かないでください。故障の原因になります。



電源コードの取り扱い注意

- ・電源コードは、使用時に束ねないでください。
- ・電源コードをテーブルやカウンターの端などに引っかけたり、ドアにはさんだり、ねじったり、もつれさせたりしないでください。破損・故障やケガの原因になります。
- ・電源コードをコンロや暖房器具など高温になるものに近づけないでください。
- ・電源コードの破損ややけどの原因になります。
- ・電源コードを鋭利なものに触れさせないでください。

*この製品は有極プラグが設置されています（片側の幅が若干広いです）。安全対策として、有極プラグは一方の方向のみにコンセントに挿すようになっています。
万が一コンセントに挿せない場合、反転させて再度、お試しください。

■ご使用上の注意

1. 真空保存は熱処理される缶詰の代わりとなる保存方法ではありません。真空保存することで鮮度を保ちますが、殺菌作用はありません。生鮮食品は、冷蔵庫・冷凍庫にて保存してください。
2. 本製品は必ずフードセーバー®専用のバックロール、バッグ、ボックスと一緒にご使用ください。
3. 空気を吸引中、少量の液体、食品または食べくずが吸引溝に吸い込まれる場合があります。毎回、使用後は必ずドリフトレーを掃除してください。
4. ボックス類をご使用の場合、食材の入れすぎにご注意ください。必ず、容器の縁から食材まで2センチ以上の空間があることを確認してください。真空ジッパーバッグをご使用の場合、バルブに水分が触れる前に、吸引を止めてください。
5. バッグの中にとがった部分がある物をバックする際（パスタ、ナイフ、フォーク等）ペーパータオルなどのクッション材で一度包んでから吸引＆密封してください。クッション材なしでは、バッグに穴が開く可能性があります。バッグの代わりに真空フレッシュボックスの使用をおすすめします。
6. 野菜は、軽く湯通しするなど下処理をしてから真空保存してください。

■ご使用にあたって

本製品は、食品やその他の生活用品を真空保存するものです。

- 食品を保存するときは、空気の吸引をおこない、冷蔵庫や冷凍庫に保存してください。
- 空気を抜いて密封しても、鮮度は少しずつ劣化します。早めの消費をお勧めします。
- 本製品はあくまでも鮮度を保つものであり、殺菌作用はありません。保存には十分ご注意ください。
- 業務用などで使用されている、強力な真空ポンプによる空気を抜き取る方法とは違います。完全な真空状態にはなりません。
- お客様の不注意による破損・故障・ケガ・事故・火災に対する責任は負いかねますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の使用ガイドライン、および指示が守られない場合は、当社は一切の責任を負いかねます。
- 使用前に、製品が破損していないか点検してください。
- 本製品はおもちゃではありません。お子様や監視・監督が必要な方による使用はおやめください。
- 本製品をお子様や、適切な利用方法を理解しない方が単独で使うことは絶対にお止めください。

■本製品の用途について

- 本製品は一般家庭で個人が使用するために製造された製品です。業務用としての使用は絶対にしないでください。

■保管と廃棄について

- 本製品は安全で乾燥した場所に保管し、次のような場所には保管しないでください。
 - ・極端に高温、低温、多湿になる場所
 - ・ほこりが多い場所
 - ・お子様の手の届く場所
 - ・野外、直射日光のあたる場所
 - ・油煙や湿気のある場所
- 保管の際は、グリース、油、泥、氷雪、未乾燥の塗料、または他の滑りやすいものから遠ざけてください。
- 保管の際は、清潔に保ち、有害物から遠ざけてください。
- 保管の際は、必ず平らで安定した場所に保管してください。
- 本製品を廃棄するときは、行政・自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

■保守と点検について

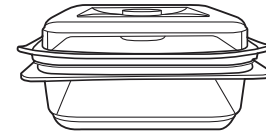
- 事故防止のため、当社が推奨、または販売している部品のみ使用してください。
- 故障、劣化、または火や化学物質で腐食した場合は、使用しないでください。

■お願い

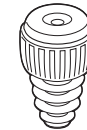
使用方法を誤りますと、機器を傷めたり、故障の原因になります。

- ドリフトレーは常にきれいな状態で使用してください。
- 一般の袋では空気の吸引はできません。密封のみの使用は可能です。
吸引＆密封する場合は、必ずフードセーバー®専用のバックロール、バッグ、ボックスを使用してください。

付属品



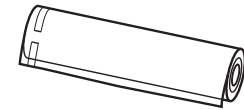
真空フレッシュボックス サイズ3 (1個)
サラダや汁物の保存に使用します。



真空ボトルストッパー (1個)
ワインやジュースの変質、酸化を防ぐことができます。

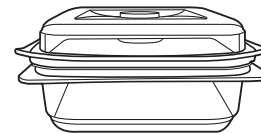


真空ジッパーバッグ Sサイズ (3枚)
真空ジッパーバッグ Lサイズ (3枚)
繰り返し使えるジッパータイプのバッグです。



専用バックロール サイズ小 (1本)
専用バックロール サイズ大 (1本)
バックするときに使用します。
食品の大きさに合わせてカットして使用します。

別売り



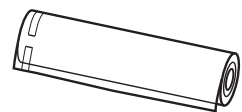
●真空フレッシュボックス

【サイズ2】158 x 79 x 108mm
【サイズ3】158 x 158 x 80mm
【サイズ5】158 x 158 x 115mm
【サイズ8】158 x 158 x 166mm
【サイズ10】318 x 158 x 111mm



●真空ジッパーバッグ

【Sサイズ (18枚入り)】
200x220mm
【Lサイズ (12枚入り)】
275x270mm

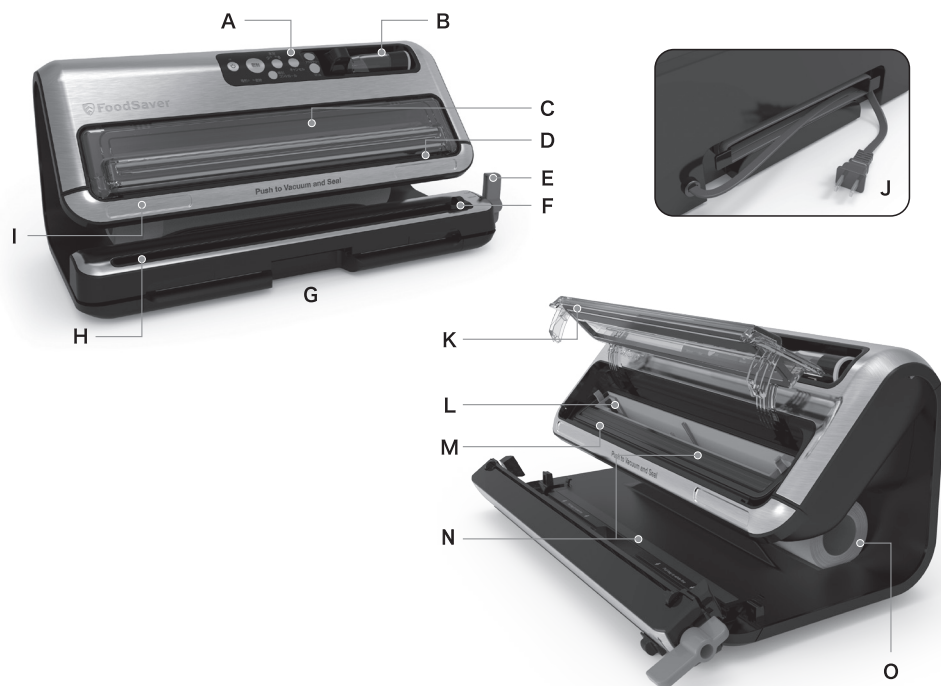


●バックロール

【サイズ小】200 mm x 6.7m
【サイズ大】280 mm x 5.4m

各部の名称とはたらき

FoodSaver® FM5460 モデル



A コントロールパネル

B ハンディーシーラー

FoodSaver® 真空ジッパーバッグ、真空フレッシュボックス、真空ボトルストッパーに対応。

C 吸引ハッチ

吸引溝、ドリットトレイ、密封用ヒーターを確認することができます。

D バッグ差し込み口

E ロックレバー

密封：後ろにレバーを回し、バックロールの先端を密封します。
解除：レバーを手前に回し、バックロールを引き出します。

F ロールカッター

スライドさせることでバックロールをカットします。

G バックロール引き出し口

H カッター付きバー

I 吸引&密封バー

バーの両端を押すことで、吸引&密封が開始します。

J 電源コード収納 スペース

K ゴムパッキン（上部）

取り外し不可。

L ドリットトレイ

吸引した液体の受け皿。取り外して掃除してください。

M ゴムパッキン（下部）

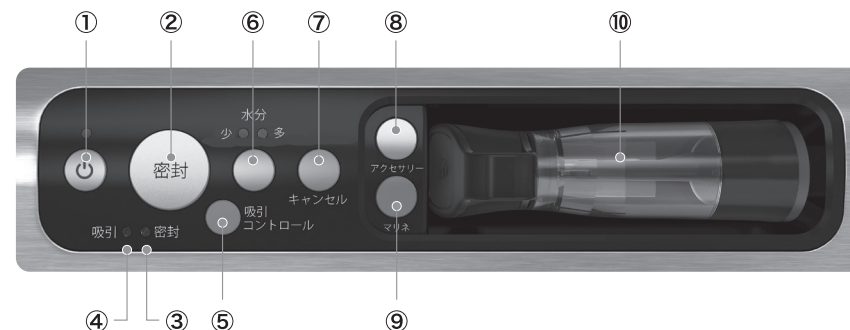
取り外し不可。

N 密封用ヒーター

熱圧着でバッグを密封します。

O バックロール収納 スペース

各部の名称とはたらき（コントロールパネル）



① 電源ボタン

使用開始する際、電源ボタンを押してください。電源ランプと食材設定ランプが点灯（緑）します。
使用後はボタンを押して、電源を「オフ」にしてください。

② 密封ボタン

（柔らかくデリケートな食材を吸引する場合）

吸引中にこのボタンを押すことで、お好みのタイミングで密封することができます。

（市販のスナック菓子袋等の密封をおこなう場合）

吸引&密封バーを押した後すぐに、このボタンを押すことで密封することができます。

③ 密封ランプ

- 密封作業が行われている間、赤いランプがゆっくり点滅します。

- エラー表示の場合、赤いランプが急速点滅します。

④ 吸引ランプ

吸引作業中、緑ランプが点灯します。吸引作業が終了したら、ランプも消灯します。

⑤ 吸引コントロールボタン

デリケートな物（崩れやすい・つぶれやすい食材）の吸引時にお使いください。

吸引途中にこのボタンを押すと吸引が止まります。さらに吸引したい場合は、このボタンを押してください。

押している間だけ吸引をおこないます。

⑥ 食材設定ボタン

水分の多い食材を吸引する際は、このボタンを押して、ランプを「多」に合わせます。

※フードセーバーは熱圧着で密封をおこないます。水分を吸い上げることによる密封部分の温度低下を防ぐため、通常よりも密封するための加熱時間が長くなります。

⑦ キャンセルボタン

すべての作業を停止します。

⑧ アクセサリーボタン

ハンディーシーラーに真空フレッシュボックス、真空ジッパーバッグ、真空ボトルストッパーを吸引する際に、このボタンを押します。吸引完了後、モーターは自動的に停止しますが、途中で停止したい場合、アクセサリボタン、またはキャンセルボタンを押すことで停止することも可能です。

⑨ マリネボタン

マリネ専用のボックスが必要となります。詳しくは本書に記載してあるカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

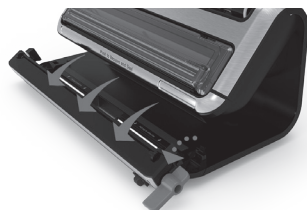
⑩ ハンディーシーラー

FoodSaver® 真空ジッパーバッグ、真空フレッシュボックス、真空ボトルストッパーに対応。

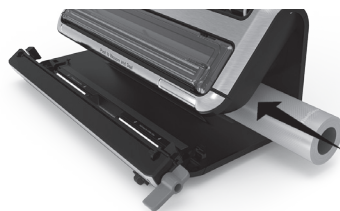
クイックスタートガイド

① バックロールを設置する

1. 電源ボタンを押すと、電源ランプが点灯します。
2. 本体右側にあるロックレバーを手前に回し、ロックを解除した後、カッター付きバーを手前に倒します。



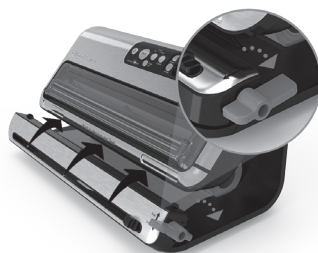
3. バックロール収納スペースにバックロールを差し込みます。



4. バックロールを白線の位置まで引っ張ります。



5. カッター付きバーを元の位置に戻した後、ロックレバーを奥に回します。ロックをすると、密封ランプが点灯し、密封が開始します。(密封部分はバッグの底になります。) 密封が完了するとランプは消灯します。



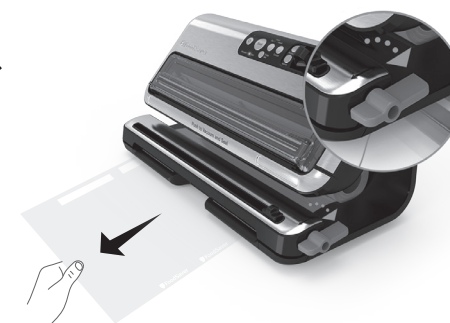
クイックスタートガイド

② バックロールからバッグ（袋）をつくる

1. 電源が入っていることを確認した後、本体右側にあるロックレバーを手前に回し、ロックを解除します。バックロール引き出し口からバックロールをお好みの長さだけ引き出します。
*引き出すバックロールの長さは、必ず吸引する食材の大きさよりも10cm程度長めにしてください。



2. ロックレバーを奥に回します。ロックレバーを奥に回すと密封ランプが赤く点灯し、次回使う分のバックロールの先端を密封します。密封が完了するとランプは消灯します。



3. ロールカッターをスライドさせ、バッグを切り取ります。



複数のバッグを作る際は、1～3の作業を繰り返しおこなってください。

クイックスタートガイド

③ バッグに食材を入れて空気の吸引&密封する



1. 食材を入れたバッグの両端を持ちます。バッグの先端を本体の「バッグ差し込み口」に差し込みます。
*バッグの先端を、ドリフトレーの奥までしっかり差し込んでください。
2. 「吸引&密封バー」の両端をしっかり押してください。吸引ハッチが自動的に閉じ、吸引&密封を開始します。
*必ず「吸引&密封バー」の両端の2点を同時に押してください。

注意：

- ・吸引・密封中、絶対に指や異物を吸引ハッチに入れないでください。
- ・吸引ハッチは自動的に勢いよく閉じます。異物などでハッチが閉じるのを遮らないでください。また無理な力を加えてハッチを閉じないでください。

ヒント：ドリフトレーがいっぱいになると、食材設定ランプが急速点滅します。ドリフトレーは必ず空にしてからお使いください。

④ 吸引コントロール機能を使って吸引する

手で吸引をコントロールすることで、デリケートな物を潰さずに密封することができます。

1. 電源を入れた後、「吸引コントロールボタン」を押します。ボタンが押されると「吸引ランプ」が点灯します。
2. 食材の入ったバッグを本体の「バッグ差し込み口」に差し込み、「吸引&密封バー」の両端をしっかり押します。
3. 吸引ハッチが自動で閉まり、数秒後に吸引が止まりますので、再び「吸引コントロールボタン」を押して手で吸引を開始してください。ボタンを押す&放すの繰り返しで吸引の微調整が可能です。

注意：「吸引コントロールボタン」を押しても吸引が行われない場合、これ以上吸引する空気が無いという合図です。この状態にたどり着くと、自動的に密封作業を開始します。

4. お好みのタイミングで「密封ボタン」を押し、バッグの密封を開始します。

クイックスタートガイド

⑤ ハンディーシーラーを使って吸引する

1. ハンディーシーラーを本体から引っ張り出します。



2. 【真空ジッパーバッグや真空フレッシュボックス】

ハンディーシーラーの先端を真空ジッパーバッグや真空フレッシュボックスのバルブに合わせます。



- 【真空ボトルストッパーや真空キャニスター（旧商品）】

ハンディーシーラーの透明パーツを外し、真空ボトルストッパーや真空キャニスターに取り付けます。

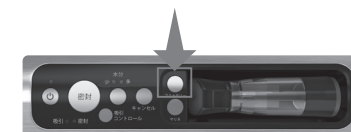


3. アクセサリーボタンを押し、吸引を開始します。

吸引が完了すると自動的に止まります。

*吸引が止まらない場合は P14 を参照ください。

*吸引中は、ハンディーシーラーをしっかりと手で下に押さえつけながら吸引してください。



4. 吸引が完了したら、ハンディーシーラーを本体に戻します。

*赤いテープが見えるまでコードを引っ張ると収納できます。



使い方ヒント

〈保存方法〉

専用バックロール	専用バックロールは、7層フィルム構造になっており、酸化防止や冷凍焼け防止に効果的です。 ・冷凍による長期保存におすすめです。 ・冷凍の場合、最長2年間保存することが可能です。
真空ジッパーバッグ	真空ジッパーバッグは、繰り返し食材の出し入れが可能です。 ・頻繁に使用する食材などの冷蔵保存におすすめです。 ※冷凍も可能ですが、冷凍することによりバルブ部分が変形する場合があります。冷凍したバッグを再度、吸引する際は、常温に戻したジッパーバッグをご使用ください。
真空フレッシュボックス	柔らかくデリケートな食材や汁気の多い食材の保存に最適です。 ・冷蔵保存におすすめです。 ※真空フレッシュボックスは冷凍庫で保存できますが、ふたと容器の間に結露が発生する場合があります。結露が凍り、膨張し、隙間が発生するため、時間と共に吸引効果が失われる場合があります。

〈水分の多い食材の保存方法〉

専用バックロール	水分を吸い上げると、しっかり密封できない場合があります。以下の方法をご活用ください。 ・細く切ったキッチンペーパーをバッグに入れることで、水分の吸い込みを防止できます。  ・食材を半冷凍させてから吸引することで、水分の吸い上げを防止することもできます。
真空ジッパーバッグ	・水分の多い食材は吸引できません。
真空フレッシュボックス	・液体や水分の多い食材の保存に最適です。



使い方ヒント

〈加熱方法〉

専用バックロール	・電子レンジで加熱 OK ※電子レンジで温める際 (100℃まで) は、必ずバッグの一部にハサミで切れ目を入れてください。 ・湯せん OK ※湯せんする際は、必ず弱火で温めてください。強火 (沸騰したお湯) で温めると、密封部分が剥がれる可能性がありますのでご注意ください。 注意：電子レンジで5分以上加熱しないでください (解凍方法) 水を張ったボウルに入れることで短時間で解凍することができます。
真空ジッパーバッグ	・電子レンジを使用する際 (100℃まで) は、ジッパー部分を一部開けた状態で加熱してください。 - また油分の多い食材は、他の容器に移してから加熱してください。 - 加熱することにより、バルブ部分が変形する可能性がありますので、電子レンジ使用後のジッパーバッグの再利用は推奨いたしません。 注意：電子レンジで5分以上加熱しないでください ・湯せん不可
真空フレッシュボックス	・電子レンジで加熱 OK ※電子レンジで温める際 (100℃まで) は、ふたを外すか、密封した状態を解除してからおこなってください。密封を解除した状態であれば、ふたを付けたまま加熱しても大丈夫です。 注意：電子レンジで5分以上加熱しないでください

お手入れ・お掃除方法

必ず電源コードをコンセントから抜いてから、お手入れを行ってください。

警告:感電を防ぐために、いかなる事があっても、フードセーバー本体、電源コード又はプラグを水又はその他の液体に浸けないでください。

ゴムパッキンやドリフトレー周りに食べ物が付着していないかどうか確認してください。必要であれば、中性洗剤とぬるま湯に浸した柔らかい布で拭き取ってください。ゴムパッキンは取り外せません。水を含ませ硬く絞った布で拭き取ってください。

本機使用後、必ず毎回ドリフトレーを外し、空にしてください。台所用中性洗剤とぬるま湯で洗ってください。しっかり乾かしてから、本体に戻してください。

注意:
使用後は必ずロックレバーを手前に回して「Unlock」の位置で保管してください。

ハンディーシーラー:

必ず、使用後は透明の液受けを空にしてください。ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤で洗い、完全に乾かしてから、元に戻してください。

注意:
容器に液体が見えたら、必ずお手入れしてください。



こんなときには

フードセーバー® 使用時のトラブル対処方法について説明します。

現象	対処方法
赤の「密封ランプ」が急速点滅している	● 本機がオーバーヒートしています。続けて密封する際、必ず20秒以上間隔をおいて、冷却させてください。連続して使用すると、保護センサーが働き、操作を停止し、赤いランプが急速点滅します。20秒間冷却するまで本機を休ませてください。 ● 吸引時間が120秒を超えると、運転が停止しランプが赤く急速点滅します。正しく吸引されていない可能性があります。下記の「吸引がとまらない」項目をご確認ください。
吸引が止まらない	下記の事項をご確認ください。 (専用バッグ使用時) ・ バッグの下部がしっかり密封されていない。もしくは、バッグに穴が開いている。 ・ 吸引時に、バッグの先端が、ドリフトレーにしっかり差し込まれていない。 (真空ジッパーバッグ使用時) ・ ジッパーバッグのジッパー部分が完全に閉まっていない。 ・ ジッパーバッグに穴が開いている。 ・ ハンディーシーラーがバッグのバルブに正しく押し当てられていない。 (真空フレッシュボックス) ・ ふたがしっかり閉まっていない。 ・ 容器にヒビが入っている。 ・ ハンディーシーラーがボックスのバルブにしっかりと接続されていない。
密封したはずのバッグが膨らんでしまう	下記の事項をご確認ください。 ・ 液体が多い食材を吸引すると、しっかり密封できない場合があります。 ・ 密封部分にシワがあると空気が抜ける原因になります。 ・ 密封部分に食品カスなどが付着していると空気の抜ける原因となります。密封部分をきれいに拭き取ってから吸引してください。 ・ バッグに穴が開いていないかご確認ください。 ・ 生野菜を冷蔵保存した場合、エチレングスを発生させ、バッグが膨らむ原因になります。生野菜は冷凍保存するか、冷蔵保存の場合は、軽く茹でるなどの下処理をしてから保存してください。